

報道関係各位

【プレスリリース】

2025 年 9 月 3 日（水）

計 4 枚

【正式提供開始】衛星データをもっと使いやすく、もっと便利な社会に — スペースシフト、衛星データ×AI 解析を標準パッケージ化 **建物変化検知 AI／遊休農地探索 AI を提供開始**

株式会社スペースシフト



株式会社スペースシフト（本社：東京都千代田区、代表取締役：金本成生）は、これまで個別に提供してきた衛星データ×AI 解析ソリューションを体系的に整理し、誰もが導入しやすいようパッケージとして展開を開始いたしました。衛星データの解析は、これまで専門的な知識や個別設計が必要とされてきましたが、今回のパッケージ化により、エンジニアに限らず、業務部門や現場担当者の方々も、日常の業務改善に活用しやすくなります。

今回は第一弾として「遊休農地探索 AI」および「建物変化検知 AI」を正式にサービス化し、料金体系や提供方法を明確に整備しました。今後、スペースシフトではこれらの取り組みを総合的に展開し、「衛星データ×AI 解析サービスブランド」として大々的にリリースしていく予定です。

■パッケージ化の背景と狙い

近年、衛星データの利用ニーズは農業、都市管理、防災、金融、報道など幅広い分野に拡大しています。しかし、ユーザー側からは「導入方法が分かりづらい」「費用や成果物のイメージが掴みにくい」などの課題の声を頂いておりました。

そこで今回、解析アルゴリズムごとにユースケースを明確にし、料金体系とサービス内容を分かりやすく提示することで、誰もが導入しやすく、継続的にご活用いただける仕組みをパッケージとして整備しました。

■パッケージ展開 第一弾

遊休農地探索 AI

農業委員会や自治体向けに、遊休農地や耕作放棄地の候補地を自動検出するサービス。

衛星データとAIを活用して、広域にわたる農地の遊休状態を色分け表示し、調査対象の優先度を可視化。広島県福山市での実証では、調査対象農地を約50%削減するなど、現場負荷軽減と効率化に貢献。

新サービスページ： https://www.spcsft.com/service/idle_farmland/

(遊休農地探索AIの解析パッケージイメージ)



遊休農地探索 AI

SAR / 光学衛星データと AI を活用し、指定エリア内における遊休農地・耕作放棄地を自動検出するサービス

2 種の衛星データ※



SAR 衛星データ



光学衛星データ

※加えて、農地ポリゴンをご提供いただく必要があります。



SPACE SHIFT
独自 AI

遊休農地箇所特定





解析パッケージ

遊休農地パトロールの手助けとして
日本全国のどんなエリアでも
ご利用いただけます。

200万円 / 回 ~

- 1 解析あたり 1 自治体から
- ポリゴンごとに遊休農地の判定結果をご提供
- 注文から最短 3 週間での納品
- サポートシステムへの取り込みまでサポート
- 各種交付金・補助金対応のサポート

建物変化検知AI

都市部や郊外における建物の新設・解体など、地表の変化を自動で検出。

広域を網羅するSAR/光学衛星データを活用し、都市モニタリングや不動産・金融機関の資産管理、報

道機関の速報取得など、さまざまな領域での活用が期待されるサービス。

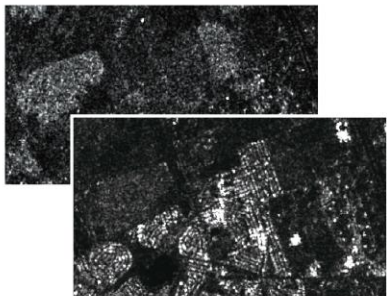
新サービスページ： https://www.spcsft.com/service/building_detection/



建物変化検知 AI

衛星データ × AI により、指定エリア内の建物の新設・解体に伴う変化傾向の情報を提供するサービス

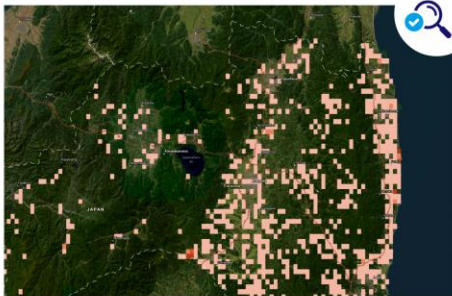
2 時期の衛星データ





SPACE SHIFT
独自 AI

建物の変化傾向





解析パッケージ

スポット解析、PoC など
あらゆるシーンで
お使いいただけます。

99 万円 / 回 ~

- 50km2 からご対応
- 500m メッシュの変化傾向情報をご提供
- ご注文から 20 営業日以内に納品
- 解析結果を GIS ツールで読み込むだけ
- レポート作成もご案内可能（オプション）

（建物変化検知AIの解析パッケージイメージ）

■今後の展開

今後は、夏から秋に高まる水害・土砂災害リスクを踏まえ、「土砂崩落」「浸水域」の自動検出を順次パッケージ化します。併せて、官公庁・民間企業の双方でニーズが高まっている「収穫量予測」「農作物モニタリング」などの既存技術や、2025年8月19日にリリースした「生成AIサービス」、お客様の業務システムへの連携、UI提供など、提供方法の拡張についてもお客様ニーズに合わせて順次推進して参ります。

さらに、解析結果の提供にとどまらず、外部プラットフォームとの連携やAPI提供の強化、パートナー企業との共同開発を通じて、衛星データを活用したDX、社会課題解決に向けた新たなソリューションを展開して参ります。

* 過去のプレスリリースもご参照ください。

- 遊休農地探索AI： <https://www.spcsft.com/news/2185/>
- 生成AIサービス： <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000060.000006437.html>

■スペースシフトについて

「Sense the Unseen from Orbit（地球上のあらゆる変化を認識可能に）」をテーマに、地球観測衛星から得られたデータを AI で解析するソフトウェアの開発を行っています。これらの技術を通じて、インフラ管理、防災・減災、農業モニタリング、環境保全など、様々な分野に衛星データを活用することで、持続可能な社会の実現を目指しています。

■会社概要

会社名：株式会社スペースシフト（英文表記：Space Shift, Inc.）

代表者：代表取締役 CEO 金本成生（かねもと なるお）

本社所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 6 階

設立：2009 年 12 月 11 日

資本金：678,329,051 円（資本準備金を含む）

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社スペースシフト（担当：竹内・津田谷）

お問い合わせ：<https://share.hsforms.com/1-fFRnQR2QwW3c-zOTCAanQ5m0z8>

E メール：pr@spcsft.com